

災害への備え できていますか？

☎ 安全安心対策課 ☎ 内線 1181



これからの時季は、台風や集中豪雨などによる自然災害が発生しやすくなります。昨年の台風では、市内でも屋根の損傷や停電などの被害を受けました。また、利根川の水位は避難判断水位の7.2メートルを超えました。災害に備えるためには、「自助」「共助」「公助」が大切です。自然災害はいつ起こるか分かりません。災害が起きたときに、自分や周囲の人の命を守るために、普段から災害に備えましょう。

自宅や周辺のリスクを知っていますか？

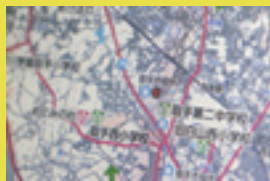
災害が起きたとき、自分や家族の命を守るように、普段から災害に備えましょう。

▶ 普段から災害が起きたときの準備をする

災害が起きてからでは避難の準備などは困難です。普段からハザードマップなどで災害が起きた場合の自宅周辺被害予想の把握や、非常食（3日分、できれば7日分）・非常用品の備蓄、避難所の場所や避難経路を確認しておきましょう。



市洪水ハザードマップ



▶ 正確な情報をもとに行動をする

誤った情報での行動は危険です。市が発信する情報や、テレビ・ラジオ・インターネットなどで正確な情報を入手しましょう。

▶ 台風が過ぎた後も注意する

右の写真は昨年の台風19号が過ぎた後の利根川の様子です。天気が回復しても川に近づくのは危険です。近づかないようにしましょう。



自分に合った情報収集をしましょう

テレビやラジオ、インターネットなどで気象情報などを入手できます。また、市では、市ホームページや防災行政無線、防災ラジオなどで防災情報を発信します。早めの情報収集を心掛け、災害に備えましょう。災害が起きたときの情報収集のために、事前にブックマーク登録しておくことをお勧めします。

▶ 市の情報



市ホームページ



市公式ツイッター



市メルマガ



市公式フェイスブック

▶ 洪水浸水想定区域図

利根川や小貝川が氾濫した場合に浸水が想定される区域や、予想される水深、浸水継続時間などを示したものです。



▶ 地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）

堤防が決壊した場合、自分の住んでいる地域がどのくらい浸水するのか、何時間で浸水が始まるのか、何日で水が引くのかなどを知ることができます。どのような浸水被害が想定されるのかシミュレーションしてみましょう。



災害時の行動を考えてみましょう

▶ 洪水ハザードマップなどでチェック

・洪水ハザードマップで、あなたの住んでいる場所の浸水深は？

利根川： メートル

小貝川： メートル

・あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？（浸水ナビで確認）

時間



気象庁台風情報

▶ 避難のための基本的な行動を考えてみる

- ・服装や持ち物の準備
- ・台風の進路状況の確認（気象庁台風情報）
- ・河川の水位、雨量（国交省川の防災情報）



国交省川の防災情報

▶ マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインは、台風の接近などによって河川の水位が上昇するときに、自分がどう行動するのかをあらかじめ時系列的に整理した防災計画です。国土交通省のホームページでは、簡単にマイ・タイムラインを作ることができます。



作ってみよう！

「webでマイ・タイムライン」

ハザードマップで自宅周辺の危険度確認を



普段から、水害があった場合の自宅周辺の危険な場所を把握し、家族で避難の時機や場所を確認しておくことが大切です。実際に水害があったときは、気象情報や河川情報を確認しながら、早く避難してください。夜間や浸水してからの避難は危険です。もし浸水してしまった場合は無理に避難せず、自宅の高い所に避難してください。避難する際は、近所の方と声をかけ合い、お互い助け合って避難しましょう。出前講座でマイ・タイムラインについてお話することもできます。

◀ 武田幸次氏（マイ・タイムラインリーダー）